

# 石油は生活に欠かせない



## 世界の石油埋蔵量と可採年数

1980年から2016年までの可採年数の差が約20で、埋蔵量の差は、約1.0ぐらいです。上のグラフを見て、1980年から2016年までの、可採年数と埋蔵量の差が大きいということがわかりました。

## 情報1 石油の使われ方

石油の使われ方で、動力と熱と原料とその他でいうと、1番使われているのは、動力約41%で2番目が熱37%そして、3番目に使われているのは原料約21%、最後にその他は約1%使われています。

動力▶自動車、トラックなどの乗用車です。

熱▶火力発電所、温室を温める、ストーブなどです。

原料▶化学せんいの服、消しゴム、レジ袋、ペットボトル、タイヤなど電気も石油を燃料として作られている石油は生活に欠かせないです。

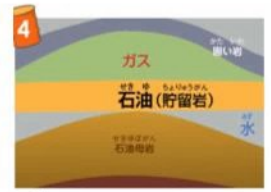
全体の三分の一の量が自動車の燃料に使われています。

## 情報2 石油の1番使っている国

石油を1番使っているのはアメリカです。

世界中で使われる石油のうち25%がアメリカで使われています。1日1人あたりの使用量も世界で1番多いです。

# 石油の作り方



以上のことから、石油がなくなったら困ることがわかります。

だから、・・・**石油の節約**が必要です。



## 石油を節約するためにできること

- ・乗用車に乗るのを控える。
- ・レジ袋などを使わない。
- ・エアコンや、ストーブなどを、あまり使わないようにする。
- ・あまり自販機で飲み物を買わない。

## 参考文献

世界の石油埋蔵量と可採年数

<https://jp.quora.com/たしか50年前ぐらいにも-石油はあと30年で枯渇する-とか石油の作り方>

<https://www.chuden.co.jp/kids/denkipaper/2009/650/issue01.html>



## 感想

僕は、これを調べていて疑問を持ったのは、なぜ、石油がなくなるまであと何年かわかるのかと、なぜ1番使っている国が分かるのかです。でも、分かったことは、石油は、生活に欠かせないということと、石油が無くなると、困ることがいっぱい出るのがわかりました。なぜなら、石油がなくなると、**生活が苦しくなる、乗用車などが使えない、作れなくなるものがある、そして、外国から輸出ができず逆に外国へ輸入ができないからです。**でも、あまり石油を使わない方がいいと思います。具体的には、レジ袋など作らないということです。